

一般質問

問

# 5月定例会議

5／31～6／3の4日間にわたり18人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。  
※原則として平成の元号は省略しています。

<b>堀越 輝子</b> <i>HORIKOSHI TERUKO</i>  P. 4 ●農業委員会について 農業委員の選出方法が任命制に変わった。今後地域の農業をリードする担い手はどうなっていくのか?	<b>中村 博美</b> <i>NAKAMURA HIROMI</i>  P. 4 ●豪雨災害について 上三坂の家が流失してしまった方々、全壊により建てかえをせざるを得ない方々に心から温かい支援をお願いしたい。	<b>倉持 守</b> <i>KURAMOCHI MAMORU</i>  P. 3 ●常総市が創設した、いきいき子育て住宅補助金と地方創生の関連性について問う この補助金は市全体の土地を対象にすべきだ!!	<b>寺田 洋</b> <i>TERADA HIROSHI</i>  P. 3 ●中越大震災及び刈谷田川の水害について 災害はいつ起こるかわからない。他市の事例を参考にして、災害に備えるべきだ!!
<b>堀越 道男</b> <i>HORIKOSHI MICHIO</i>  P. 6 ●地域医療機関の貢献と水害被害からの再建について 地域医療を支える市内の開業医。水害被害から立ち直るには、特別な支援が必要だ。	<b>石川 栄子</b> <i>ISHIKAWA EIKO</i>  P. 6 ●災害関連死について 水害に関連して亡くなられた方のご家族には、その気持ちに寄り添って、親切な対応をお願いしたい。	<b>大澤 清</b> <i>OSAWA KIYOSHI</i>  P. 5 ●情報発信について 災害時の新たな情報伝達ツール「防災応戦型エリア放送」は、行政防災無線の弱点をカバーできる。ぜひ導入の検討を!!	<b>岡野 一男</b> <i>OKANO KAZUO</i>  P. 5 ●市民の広場について 市民の広場に人を集めるのであれば、トイレや休憩施設が必要ではないか。もっとたくさんの人に利用してもらいたい。
<b>遠藤 章江</b> <i>ENDO FUMIE</i>  P. 8 ●常総市圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業とアグリサイエンスパーク構想について 計画を練り直すべきだ!!	<b>水野 昇</b> <i>MIZUNO NOBORU</i>  P. 8 ●アグリサイエンスパーク構想について 二転三転しているこの構想。ハードルが高い。やるなら同意を得てからやってもらいたい。	<b>新田 宏安</b> <i>NITTA HIROYASU</i>  P. 7 ●公共事業と地元業者の育成について 若い人が安心して、手に職をつけて暮らせるような常総市をめざしてもらいたい。	<b>中島 亨一</b> <i>NAKAJIMA RYOICHI</i>  P. 7 ●産業振興公社の創設について インターチェンジ周辺開発にあわせて、産業振興公社を立ち上げてはどうか?
<b>茂田 信三</b> <i>SHIGETA SHINZO</i>  P. 10 ●江連用水(浸水対策下水道)の早期完成について 住民は完成まで50年も60年も待ていられない。早期完成を強く訴えてもらいたい。	<b>中村 安雄</b> <i>NAKAMURA YASUO</i>  P. 10 ●市長選での誹謗中傷等の対立による市政の停滞と反省・改善について 今度の市長選はクリーンな選挙戦でなくてはならない。	<b>遠藤 正信</b> <i>ENDO MASANOBU</i>  P. 9 ●防災の日の制定について 豪雨水害を教訓として、防災意識の向上と市民生活の安全確保を目的として常総市防災の日を定めてもらいたい。	<b>小林 剛</b> <i>KOBAYASHI TAKESHI</i>  P. 9 ●大規模災害について 災害時にどういう行動をとるべきか、条例で明確化しておく必要がある。災害対策基本条例の制定を望む。
		<b>金子 晃久</b> <i>KANEKO TERUHISA</i>  P. 11 ●災害時のり災証明発行について 非常に件数の多いり災証明の発行は困難を極める。全国的・統一的なシステムが必要だ!!	<b>関 優嗣</b> <i>SEKI MASASHI</i>  P. 11 ●自主防災組織について 市内の自主防災組織が災害時には1つの大きなまとまりとなって力を発揮できるような、災害に強いまちをめざせ!!